

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度

活動期間:2023年8月～2024年7月



2024年 9月30日 作成
有限会社 木下建設工業

佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀1771-3

目 次

表紙	P 1
目次	P 2
1. 組織概要・対象範囲	P 3
(1) 事業者名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者及び事務局	
(4) 事業活動の内容	
(5) 事業規模	
(6) 認証・登録範囲	
2. 環境経営方針	P 4
3. 環境経営目標	
(1) 本社(事務所)	P 5
(2) 建設現場	P 6
4. 環境経営計画	P 7
5. 実施体制	P 8
6. 環境経営目標の実績とその評価	
(1) 本社(事務所)	P 9
(2) 建設現場	P 10
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	P 11
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P 12
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P 12

Ⅰ. 組織概要・対象範囲

(1) 事業者名及び代表者名

有限会社 木下建設工業
代表取締役 木下 英之

(2) 所在地

本社：〒849-0101 佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀1771-3
TEL 0942-94-2460
FAX 0942-94-2697

(3) 環境管理責任者及び事務局

EA-21 責任者 代表取締役 木下 英之(兼務)
EA-21 事務局 木下 典子
連絡先：TEL・FAX 所在地と同じ
E-mail: KKKougyo@d4.dion.ne.jp

(4) 事業活動の内容

建設業 佐賀県知事（般-3）第 6993 号
許可の有効期限 令和4年2月13日～令和9年2月12日

土木工事業、ほ装工事業、とび・土工工事業、石工事業、
水道施設工事業、しゅんせつ工事業、鋼構造物工事業

(5) 事業規模

(年度は毎年8月から7月とします。)

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	88	75	123
従業員	人	7	7	7
床面積	m ²	40	40	40
資材置場	m ²	1547	1547	1547

(6) 認証・登録範囲（当社は、全組織・全活動を対象範囲としています。）

本社 佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀1771-3
資材置場 佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀1888-12

環境経営方針

有限会社 木下建設工業は、地域環境保全が重要課題である事を認識し、当社の事業活動のあらゆる分野で、環境に配慮した行動に努め、広く地域・社会に貢献します。

1. 当社は土木工事、道路舗装工事等の事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境経営目標・環境経営計画を定め継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
3. 土木工事、道路舗装工事等の事業に於いて環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
(空調・車両管理等による、電気使用量・燃料使用量の削減)
 - ② 工事等の事業で排出される一般及び産業廃棄物の削減及びリサイクル
による建設リサイクル活動の推進
 - ③ 節水活動による水使用量の削減
4. 事業活動での使用資材並びに事務用品等のグリーン購入に努め、循環型社会の実現に貢献いたします。
5. 環境保全に関する啓発と、地域での社会貢献活動に努めます。

この環境経営方針は、当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

制定 2011 年 6月 16日

改定 2024 年 8月 1日

有限会社 木下建設工業

代表取締役 木下 英之

3. 環境経営目標

当社の環境経営目標は、環境負荷の実績より以下のような目標を設定しました。
尚、目標の基準は2022年度の実績データを使用しています。

(1) 本社(事務所)

【環境負荷は2022年度の実績データを基準とし、毎年1%ずつ削減し3年間で3%削減します】

(年度は毎年8月から翌年7月とします。)

2022年度基準値より→			1%削減	2%削減	3%削減
取組項目	単位	2022年度 (基準値)	2023年度	2024年度	2025年度 (中期目標)
全社二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	37,751	37,373	36,996	36,618
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	1,535	1,520	1,504	1,489
①電気使用量の削減	kWh	2915	2,886	2,857	2,828
④灯油使用量の削減	L	76	75.2	74.5	73.7
2. 一般廃棄物の削減(熱回収) *再資源化量を除く	t	0.16	0.158	0.157	0.155
3. 水使用量の削減	m3	23	22.8	22.5	22.3
4. 環境保全取組実施の向上	社員への環境教育訓練		1回	1回	1回
	事務所周辺の清掃活動		4回以上	4回以上	4回以上
5. グリーン購入の促進 (本社で一括管理)	品目	6	6	6	6
6. 本業における環境活動(本社で一括管理)					
・建設副産物の再資源化率の維持・向上	%		100%を維持	100%を維持	100%を維持
・環境に優しい工法等の情報収集	件/年間		1件	1件	1件

備考:購入電力の二酸化炭素排出係数は(九州電力2022年度)の調整後の排出係数

0.462kg-CO2/kWhを使用しました。

備考;当社は化学物質の使用はありません。

(2) 建設現場

【環境負荷は2022年度の実績データを基準とし、毎年1%ずつ削減し3年間で3%削減します】

(年度は毎年8月から翌年7月とします。)

2022年度基準値より→			1%削減	2%削減	3%削減
取組項目	単位	2022年度 (基準値)	2023年度	2024年度	2025年度 (中期目標)
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	36,216	35,854	35,492	35,130
①電気使用量の削減	kWh	1,085	1,074	1,063	1,052
②ガソリン使用量の削減	L	3,633.8	3,597.5	3,561.1	3,524.8
③灯油使用量の削減*	L	582	576	570	565
④軽油使用量の削減	L	10,013.7	9,913.6	9,813.4	9,713.3
2. 建設副産物の削減					
参考(廃棄物の総量) (殆ど再生利用)	t	(68)	(67.3)	(66.6)	(66.0)
建設副産物のリサイクル (再資源化率)	%	ほぼ、100%	現状を維持する。		
3. 化学物質の適正管理	—	適正管理	使用する場合、適正管理を実施する。		
4. 環境保全取組実施の向上	ボランティア活動の参加		1回	1回	1回
	現場及び周辺の清掃活動		4回以上	4回以上	4回以上

備考:購入電力の二酸化炭素排出係数は(九州電力2022年度)の調整後の排出係数

0.462kg-CO2/kWhを使用しました。

備考:建設副産物の発生量は工種、規模により大きく変動するため参考値としています。

備考:現場における水使用量は大変少なく、目標設定していません。

但し節水活動は事務所と一緒に全社にて取り組んでいきます。

備考:建設現場等の灯油は2022年度は使用していませんが、例年使用しており、2018年度の実績値を使用しました。

4. 環境経営計画（2023年度）

環境経営計画及び具体的取組を次のとおり策定しました。

《責任者 EA-21 責任者木下英之、対象者：全員》

①電気使用量の削減（CO2の削減）

《目標値：2022年度比1%削減》

- ・昼休みなど未使用の電気消灯の徹底
- ・空調温度管理の徹底（過ごしやすい温度）
- ・節電シール等の表示

②燃料使用量の削減（CO2の削減）

《目標値：2022年度比1%削減》

- ・アイドリングストップの徹底
- ・「エコドライブのすすめ」を車両に提示
- ・車両の燃費使用量と走行距離のチェック

③廃棄物の削減

《目標値：2022年度比1%削減》

（本社事務所）

- ・廃棄物の分別の徹底
- ・空き缶、ペットボトルのリサイクル
- ・可燃物（一般ゴミ）の排出量の秤量管理
- ・トナーカートリッジ類のリサイクル
- ・紙の両面印刷

（現場）

- ・管理票による適正処理
- ・産業廃棄物の収集運搬及び処分事業者との適正な契約管理
- ・廃棄物の分別の徹底
- ・残余資材のリユース・リサイクルの推進

④水使用量の削減

《目標値：2022年度比1%削減》

- ・節水シール等の表示
- ・建設現場における河川水、雨水の利用

⑤グリーン購入の促進

- ・グリーン購入品の調査
- ・エコマーク商品等の優先的購入実施

⑥環境保全取組実施率の向上

- ・教育訓練の実施
- ・事務所周辺の清掃
- ・工事現場及び周辺の清掃
- ・地域ボランティア活動の参加

⑦化学物質の適正管理

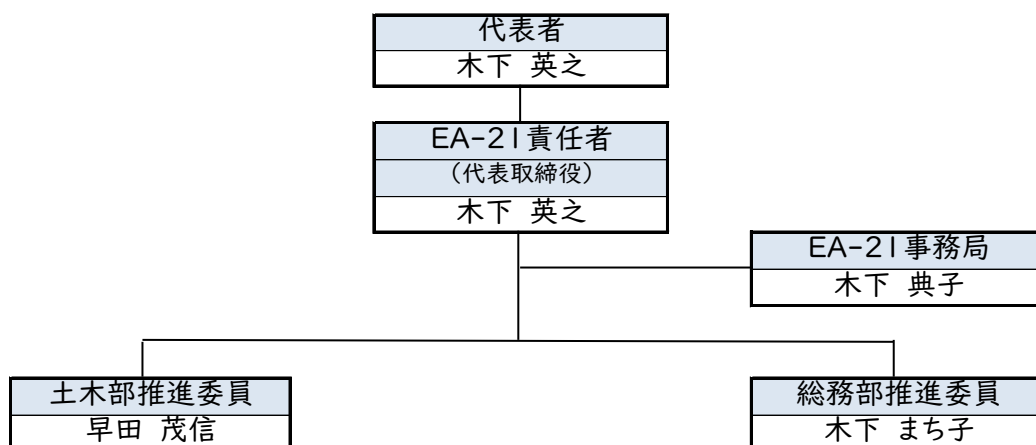
- ・化学物質使用時には、SDS（化学物質安全性データシート）を入手する。
- ・PRTR対象物質の把握、使用量、保管量の把握
- ・使用量の把握ならびに処分時の適正な管理

⑧本業における環境活動

- ・建設副産物のリサイクル率（再資源化率）の維持・向上
- ・環境に優しい工法等の情報収集
- ・自社設備並びに建設機械、治具等の省エネ化等

5. 実施体制（EA-2I 推進組織図）

当社は全組織・全活動を対象としています。



所属	役割・責任・権限
代表者	・環境経営方針の策定 ・経営資源の準備 ・代表者による全体の評価と見直し ・環境経営レポートの承認 ・環境経営目標及び環境活動計画の承認
EA-2I 責任者	・EA-2I システムの確立、実施推進、維持管理 ・環境への負荷および取組への自己チェックの実施 ・環境経営目標及び環境経営計画への策定 ・環境経営活動レポートの作成 ・EA-2I に関する実績把握と報告 ・EA-2I 環境経営マニュアルの作成
EA-2I 事務局	・EA-2I 責任者の補佐業務 ・環境関連法規の取り纏め及び遵守状況確認 ・教育、訓練計画の策定と実施（緊急時対応訓練・テスト含む） ・環境文書及び記録の作成、管理 ・その他EA-2I に関する業務
土木部推進委員 総務部推進委員	・環境経営活動計画の実施 ・問題点の是正処置

6. 環境経営目標の実績とその評価

(1) 本社(事務所)

2023年度(2023年8月~2024年7月)

項目	単位	目標値	実績値	達成率	評価
全社二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	37,373	28,870	129.5%	○
(本社) 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	1,520	1,600	95.0%	△
①電気使用量の削減	kWh	2,886	3,065	94.2%	△
④灯油使用量の削減	L	75.2	74	101.6%	○
一般廃棄物の削減(熱回収)	t	0.158	0.154	102.6%	○
水使用量の削減	m3	22.8	22.2	102.7%	○
グリーン購入推進 (本社で一括管理)	品目	6	6	100.0%	○
環境保全取組実施					
・環境教育訓練(全社)	回	1	1	100.0%	○
・事務所周辺の清掃		4回以上	4回	100.0%	○
本業における環境活動(本社で一括管理)					
・建設副産物の再資源化率の維持・向上		100%を維持	100%を維持	100%	○
・環境に優しい工法等の情報収集		1件/年間	1件	100%	○

備考:削減目標達成率=目標値/実績値、改善目標達成率=実績値/目標値

評価基準: ○100%以上、△100%未満~92%、×92%未満

備考:対象期間内の化学物質の使用はありませんでした。

備考:購入電力の二酸化炭素排出係数は(九州電力2022年度)の調整後の排出係数
0.462kg-CO2/kWhを使用しました。

(2) 建設現場

2023年度（2023年8月～2024年7月）

項目	単位	目標値	実績値	達成率	評価
(建設現場)					
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	35,854	27,270	131.5%	○
①電気使用量の削減	kWh	1,074	1,080	99.4%	△
②ガソリン使用量の削減	L	3,597	3,265.4	110.2%	○
③軽油使用量の削減	L	9,914	7,376.3	134.4%	○
④灯油使用量の削減	L	576	66	872.7%	○
2. 建設副産物の削減					
参考(廃棄物の総量)	t	(67.3)	(87.9)	全て再生利用済	—
建設副産物のリサイクル (再資源化率)	%	ほぼ、100	100%	100%	○
3. 化学物質の適正管理	—	適正管理	使用実績なし		—
4. 環境保全取組実施					
・ボランティア活動	回	1	1	100%	○
・現場及び周辺の清掃		4回以上	4	100%	○

備考:削減目標達成率=目標値/実績値、改善目標達成率=実績値/目標値

評価基準: ○100%以上、△100%未満～92%、×92%未満

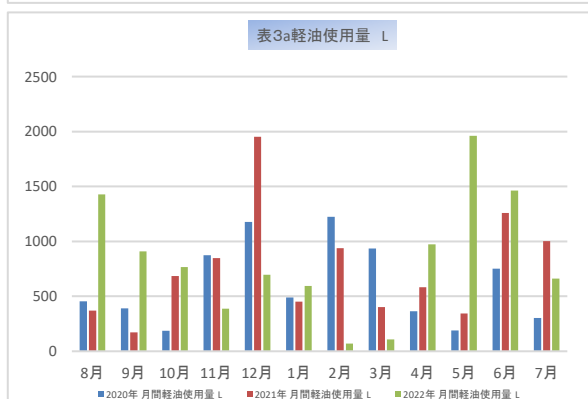
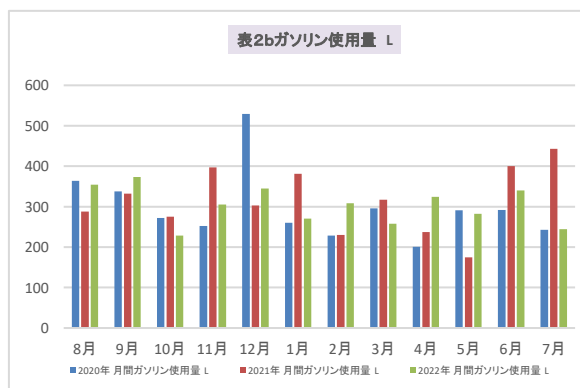
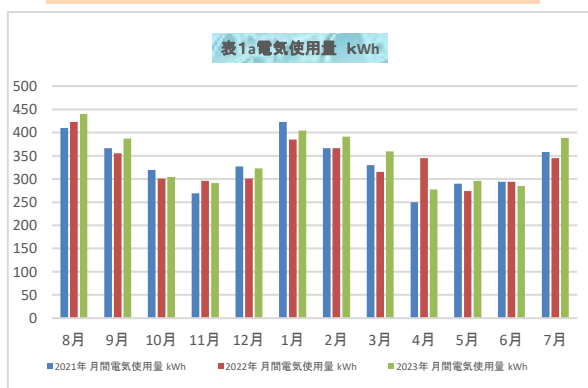
備考:建設副産物の発生量は工種、規模により大きく変動するため参考値としています。

備考:対象期間内の化学物質の使用はありませんでした。

備考:購入電力の二酸化炭素排出係数は(九州電力2022年度)の調整後の排出係数

0.462kg-CO2/kWhを使用しました。

・エネルギー使用量の年間推移



7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

【全社二酸化炭素排出量の削減】

- ・今年度は大幅に目標達成する事ができました。引き続き全社で省エネ活動に取り組んでいきます。

【電気使用量の削減】

- ・事務所、現場とも僅かに達成する事ができませんでした。事務所ではエアコンのスイッチの入切が多く電力消費が大きかったと思います。現場では、倉庫で作業する事が多かったです。
- ・定期的なエアコンフィルターの清掃を行うとともに温度管理を見直し、削減していきます。

【ガソリン使用量の削減】

- ・今年度も目標達成する事ができました。今後もタイヤの空気圧やエンジンオイルの適切な交換、車両の燃費と走行距離のチェック並びにアイドリングストップを推進していきます。

【軽油使用量の削減】

- ・今年度は大幅に達成する事ができました。今後もトラック・重機等の省エネ運転、アイドリングストップを推進していきます。

【灯油使用量の削減】

- ・現場では、倉庫にストーブを設置しました。使用量が少なかったので達成することができました。
- ・事務所では、エアコンとストーブをうまく併用したため達成できました。

【一般廃棄物の削減】

- ・一般廃棄物では、ペットボトル・缶などのリサイクルを意識して取り組む事ができました。
- ・今後も分別並びに削減活動を継続していきます。

【水使用量の削減】

- ・全員が意識して節水に取り組んでいます。今後も削減活動を継続していきます。

【建設副産物の削減】

- ・今年度は排出量が多かったが、再資源化率は100%を維持できました。
- 引き続きさらなる分別に取り組んでいきます。

【グリーン購入推進】

- ・目標を達成出来ました。今後もグリーン購入の調査を徹底し、環境負荷の少ない製品を積極的に購入します。

【環境保全取組実施】

- ・現場周辺・事務所周辺の清掃活動は定期的に行われています。今後も継続して活動していきます。
- ・ボランティア活動では、毎年開催される地元の祭りのステージ設置・解体作業に参加しました。

【本業における環境活動】

- ・建設副産物の再資源化率は100%を維持しています。
- ・環境に優しい工法等の情報は収集中です。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

①当社が遵守すべき主な環境関連法規は下記のとおりです。

法令の名称	該当する項目	遵守状況
騒音規制法	騒音防止	遵守確認済
振動規制法	振動防止	遵守確認済
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正な処理	遵守確認済
建設リサイクル法	特定建設資材廃棄物の再資源化	遵守確認済

詳細は別紙、「環境関連法規等の取りまとめ」に記載しています。

②環境関連法規制違反・訴訟など

環境関連法規制への違反・訴訟は、ありませんでした。
また、外部からの苦情等も3年間ありませんでした。

2024年 9月 20日
EA-21責任者 木下 英之

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

全体的にほぼ目標達成する事ができたと思います。

電気使用量の削減では、達成率事務所 94%、現場 99%と僅かに目標達成する事ができませんでした。建設副産物では、排出量は増えましたが再資源化率100%維持できています。

次年度では全項目、目標達成できるように取り組んでいきたいと思います。

環境保全活動では、事務所・現場ともに定期的に清掃活動が行われており、今後も継続していきボランティア活動にも積極的に参加していき、社会に貢献できるように進んでいきたいと思います。

2024年 9月 25日
代表取締役 木下 英之